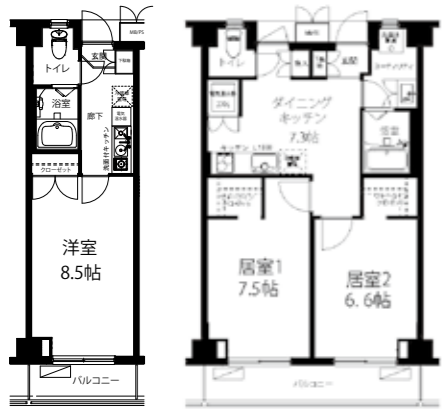


●コレクティブハウス本町田

D1タイプ：25㎡ 59,000円/月（即入居可）
Fタイプ：50㎡ 92,000円/月（即入居可）

所在地：東京都町田市本町田1143-1
最寄駅：小田急線「町田」駅バス6分徒歩3分（徒歩25分）
共用部分：リビング、ダイニングキッチン、バス、トイレ、庭
構造：RC造 地下1階、地上3階建て
建築年月：1993年3月竣工、2020年3月リニューアルオープン
COMMONスペース：キッチン、リビング、ラウンジ、ゲストルーム、
コモンバス、ランドリー、多目的ルーム
管理費：5,980円/月
組合費：3,000～4,000円/月（2021年度見込み。大人一人あたり）
★初期費用割引キャンペーン中！
・敷金2ヶ月のところ無料 ・火災保険料負担なし
・フリーレント1ヶ月



その他の空室情報はこちら



コレクティブハウス本町田では、1歳～70代まで11人の居住者が新たな仲間をお待ちしています。敷地内に小さな畑も作り始め、春らしい暮らしがはじまっています

多古町「ぼんぼこマルシェ」、本町田で隔月定期開催決定！
4月17(土)～18(日)開催です！

お久しぶりの方も初めましての方も、こんにちは！ 一般社団法人多古町古民家活用ぼんぼこ推進協議会（以下、ぼんぼこ団）並木です。

12月5日・6日と2月20日・21日に、コレクティブハウス本町田でテント一つの小さな青空市「ぼんぼこマルシェ」を開催しました。

天皇にも献上されたことがあり築地の寿司職人に愛される幻の米「多古米」、リピーター続出の絶品中玉トマト「フルティカ」、平飼卵の有精卵などなどの手に入りづらい品物や、有機や減農薬、農家の自家栽培（無農薬）の前日・前々日の内に収穫した新鮮なお野菜を千葉県多古町からお届けしました。



ぼんぼこ団は古民家一棟貸しの宿「万福邸」を拠点に、多古町の地域活性のために活動しており、マルシェ開催のきっかけは「多古町のPR」でした。実際に2回4日間に渡って活動し、みなさんに美味しいお野菜をお届けして、マルシェを楽しんでもらえたことで、「本町田」の地域コミュニティの一助になれたようで、嬉しく思っています。

そしてなんと!! 偶数月の第2週の土日を基本的なスケジュールに定期開催が決定しました！
4月はイレギュラーで4/17（土）・18（日）になっていますので、お間違いなく。お会いできることを楽しみに！！

ぼんぼこ団について、詳しくはこちらをご覧ください。
<http://pompoco.life/>

ぼんぼこ団について、詳しくはこちらをご覧ください。
<http://pompoco.life/>

「投稿コーナー」投稿募集

「これこれ新聞」では、話題にしてほしい記事を読者の皆様より募集しています。投稿はこちら↓
ペンネームを添えて、collecollego@gmail.com まで。

「これこれ新聞」編集サポーター募集！

これこれ新聞編集部では写真を撮ったり、記事を書いたり、アイデアを出して下さる、サポーターを募集しています。
collecollego@gmail.com までご連絡ください。

【編集後記】未着

お知らせ

居住者のブログ・FB・インスタグラム

- 実際の暮らしの様子はコチラから
- スガモフラット
<https://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/>
<https://www.instagram.com/sugamons212/>
- コレクティブハウス聖蹟
<https://www.facebook.com/ch.seiseki/>
- コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/
- タウンコレクティブ南小岩
<https://www.facebook.com/tc.koiwa/>
https://www.instagram.com/minami_koiwa
- エコダハウス
https://www.instagram.com/ekoda_house/
- コレクティブハウス@CHC
<https://www.instagram.com/collectivehousing.jp/>



毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



※事前に事務局までご一報ください。
TEL: 080-6660-1143 / E-mail: info@chc.or.jp

Facebookページも公開中！

発行／NPO法人コレクティブハウジング社（CHC）ホームページ <https://chc.or.jp/>
〒194-0032 東京都町田市本町田1143-1 まちのもり本町田2202
TEL: 080-6660-1143 E-mail: info@chc.or.jp

これこれ新聞 vol.40
定価200円（税込）
定期購読2,000円（年間/送料別）



隔月刊
CHC

これこれ新聞

私にとってのコレクティブハウス：

それぞれの考えや手作業を持ち寄って、手探りで暮らしを作っていくところ。時々、めんどくさいと感じることもあります。でも、そのめんどくささこそが、コレクティブの暮らしの豊かさなんだと思います。
(コレクティブハウス居住者TV)

～「ひとり」や「家族」で暮らす、だけじゃない暮らしかたのカタチ～
ともに暮らし、支え合う生活を考えるフォーラム
in KYOTO 2021

京都府では「子育て中の家族はもとより、子どもを産み育てることに躊躇する若い世代が、暮らしの中で支えあうことで安心して仕事も生活もできることが大切」と職員有志が研究を続け、少子化対策には日ごろからの子育て支援が必須ということでコレクティブハウスに着目されました。

CHCは京都で活動するNPO法人場とつながりラボhome's viとともに2017年から京都府と協働し、毎年セミナーやフォーラムを開催してきました。

今年のフォーラムは3月2日に開催。京都と東京のハウス3ヶ所をオンラインでつなぎ、様々な形のつながりを持って暮らす住まいを紹介する中で、コレクティブハウスの暮らしについて知っていただくことができました。



【スガモフラット宮本博美さんの感想】

スガモフラットの住み手としてクロストークに参加しました。入居のきっかけや、ここでの生活、コレクティブハウスでの育児とか、ミール、コロナ禍の暮らしなど、これまでに何度も話しているテーマも多かったのですが、あらためて口にする、自分でも確認できるし、発見があります。ほかのかたのトークを聞くのも楽しく、京都のコレクティブハウスcoco camoさんと、拡張家族をテーマにしたCift京都さんのお話は、自分が考えるコレクティブハウスとは違うところもありましたが、それでも少数派どうし？「コレクティブ」というキーワードでつながりが持てたことに、可能性を感じています。京都のイベントに東京から参加できたのも、ズームの時代ならではのですね。

平日の午前中なのに申し込み者が90名!?というのも驚きました（画面で数えると緊張しそうなので実際の参加人数はわかりませんが）。京都にはコレクティブな暮らしに関心のあるかたが多いのか、主催者の集客力なのか……。

10時半から13時というのも「長い!」と思いましたが、実際には話し足りない気分が延長時間のぎりぎりまで楽しく語りました。

オンラインもよいですが、もし次回同様のイベントがあるなら、ぜひ京都に行きたいです!



町田市地域活動サポートオフィス主催 まち“だ”づくりカレッジ に参加しました

未来志向の事業計画をつくる伴走型連続講座「まちだづくりカレッジ2020年2期」が町田市地域活動サポートオフィス主催で開講され、CHCの理事メンバー3名が参加しました。



この講座は活動団体のスタートアップやステップアップを目的にしたもので、連続5回の講座では、サポートオフィスの事業統括ディレクターである長浜洋二さんが、ビジョン、ミッションから事業計画をたてるまでの基本的な考え方やプロセスについて講義してくださいました。

普段の仕事と並行して課題に取り組むことはなかなか大変なことでしたが、メンバー間でしっかりと時間をとって話すことができ、個性あふれるサポートオフィスのみなさんと出会いと励ましを得て、サポートオフィスのみなさんを交えて真剣に取り組めたことで、自らの活動において今後の協働への可能性を感じられたことは大きな成果となりました。

第2期の参加団体は「ぼくはぼく」「らぶふあみ事務局」とCHCで、毎回、各団体のワークの結果を伝え合い多くの刺激をいただき、サポートオフィスを含め、他の団体との相互理解が進んだこともこの講座の大きな魅力でした。

活動20周年の節目に町田に引っ越してきて半年がたち、町田という地域に団体として受け入れてもらえるきっかけをつくっていただいたように思います。

「まちのもり本町田」も入居者が9割ほどになりました。ここを拠点に地域の中で居住者の皆さんとともに様々な協働を生みだし、つながりをつくっていきたくと思います。

2月25日に行った最終報告会のレポートが町田市地域活動サポートオフィスのHPに掲載されていますので、ぜひご覧ください。
<https://machida-support.or.jp/report/college210205/>

(一社) 全国居住支援法人協議会 主催 居住支援法人研修会に参加しました

1/13～29の間、5回にわたるオンライン研修会でした。参加者は行政、社協、社会福祉法人、NPO法人、一般社団法人、株式会社など、居住支援活動に携わる多岐にわたる団体で、研修の内容も「求められる居住支援法人の役割」というテーマで様々な角度からの講義があり、その後全国の先進事例の紹介がありました。

事例では、座間市(行政)「『断らない相談支援』が育む地域・市内連携」が印象的でした。

コロナ禍の各コレクティブハウスから それぞれの感染症対策

【スガモフラット】 二度目の緊急事態宣言

なんだか1年すっぱりどこかへ行ってしまったような2020年でしたね。2021年になって二度目の緊急事態宣言が発令され、さらに2週間延長。しかし春はやってきました。

春と同時に地蔵通りも人出が増えて、ほんとに緊急事態?とってしまいます。そんな中スガモフラットでは、2020年から静かに過ごす日曜日の夜、読書会が開かれています。コモンに来て読んでいる人もいれば、ズームでつながって自室で参加する人もいます。読書だけでなく、縫物をしたり、勉強をしたり、係の仕事をしたり、ストレッチをしたり、瞑想をしたり…定例会に始まり、ズーム利用のいろんな会がすっかり普通になりました。

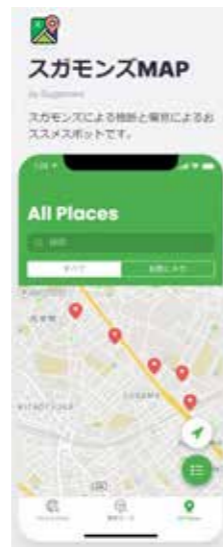
先日は新入居者さんを囲んで自己紹介や家の中の一通りの説明などをしました。とはいえやはり実際に会って話す、ということも欲しいので、この度ミールグループさんがアクリル板を買ってくれました。これがあればもっと集いやすくなるでしょう。今後ミールのような集いが期待できそうです。

コモンはリモートワークのみなさんもいらっやいます。こここのころコロナ対策の見直しがあり、換気をしないとイケないよね、ということで、常に5センチ、窓を二か所あけているので寒い、ということもあるでしょう。花粉の人には辛い、ということもあるでしょう。ひとところに比べると減りましたが、暖かくなればまた増えるかな。

スガモフラットは2月で会計を締め、3月に予算建て。新しいグループを立ち上げるのはこの時期です。日常グループというのと時々グループというのがあって 日常はどちらかというとな必要な家事分担のマネジメント。時々、というのはそれほど毎日関わらなくてもいいけど、それなりにないと困るかな、というものです。今までは日常1つ、時々1つ以上必須で入る、となっていました。それが、それでは楽しくないので 去年から時々は必須ではなく、やりたい人がやりたいことをできるよう、自由になりました。まだすべてそれで解決というわけにはいかないですが、そんな流れで今度、放送局グループというのを立ち上げました。放送局、といいながら新聞社でもあり、なんだかちょっとワクワクしているこの春です!

これとは別に、自粛で遠くへはいけませんが近所の散歩が増えた、ということとか、テイクアウトのお店の情報や防災自販機などをデジタルな地図に書き込んで、ゆくゆくは防災マップにもなるようにしよう、というグループ活動を始めてくれている人もいます。いろんなことができるものですね。

どんな時代、どんな世代にもできることはあり、新しい楽しいことって探せばあるものですね! (O)



写真(左) コモンリビングで (右) 近くの公園で ※撮影Y.Kさん、5年前コレクティブに来てから始めたカメラの腕は既にプロ並みに素晴らしいです

【CH大泉学園】 住民の生活の変化

新型コロナウイルスの流行が始まって丸一年。共用の玄関に手指の消毒液を置くようになりました。手洗い・うがい、マスクをする、など基本的な対策を各自で心がけています。

組合の活動の様子も少し変わりました。オンライン対応が苦手な方が多いので、定例会はコモンルームに集まって行いますが、なるべく距離を開けて換気。コモン風呂は以前からの通り、自分の住居にお風呂がない人や入りたい人が使っています。もちろん使い終わったら、湿気対策も兼ねて換気です!

みなとや(※)のメンバーのみなさんを中心に、新型コロナが流行してからここ最近の生活の変化について聞いてみました。最も大きな変化は、やはり「コモンでみんなでごはんを食べられなくなったこと(Y.Kさん、スタッフTさん)」。CHの良さを感じられるイベントができなくなり、寂しさを感じる機会がそれぞれで増えたように思います。1回目の緊急事態宣言の時にはミールを中止しましたが、K.Kさんをはじめ対策をしながら作ってくださる方がいて、現在、ミールは以前のとおり、ほぼ全員が月1回の当番を担っています。ただ、コモンルームに集まって食べるのには不安もあるので、最近は各自の部屋に持ち帰って食べる人が多いです。

【CH本町田】 まちのもりカフェオープン!

2月20日の日曜日、季節外れの暖かさの中、まちのもり本町田居住の有志でカフェを開催しました。まちのもり本町田にはコレクティブハウス本町田と一般のコモン付き賃貸住宅の2つの形態があり、現在総勢約70名ほどが居住しています。建物敷地内にはパティオやアトリウム、広いラウンジがあるのですが、そんな大勢の方が住んでいても普段はとても静かなのです。

そんな場所で、談笑したり本を読んだりしながら楽しむには、「美味しいコーヒーが飲めたら、みんなぶらっと気軽に遊びに来ないかな?」という小さな発想から、このカフェが始まりました。

今回は有志メンバー約10人で看板をつくり、外でものんびりできるように、新たにテーブルと椅子をつくり、いよいよ当日を迎えました。「本当にみんな来るんだろうか?」と始まる前には不安もありましたが、いざ始まると途切れることなく、最終的には20名ほどが遊びに来てくれました。

初回ということで、なかなかお住まいの方と交流することはできませんでしたが、普段同じ敷地内に住んでいても、挨拶くらい関係だったコモン付き賃貸にお住まいの方と少しでも交流するきっかけづくりとして、今後も続けていきたいと思っています。



好きなところに出かけたり、友達と飲みに行くことができなくなり、ストレスを感じることもありますが、「近所でいいなと思う景色や楽しみをみつけられるようになった(Y.Kさん)」という前向きな意見も聞けました。「三密」にならないガーデニング活動を、グループの

みなさんが積極的に行ってくだっているおかげで「ハウスの前の花を見るのが楽しみ(スタッフAさん)」という居住者も多いかもしれません。

一方で、外出の機会が減り「太ってしまったので、ちょっとだけダイエット中です」なんて声も。(周りからは太っているように見えなくても、自分では気になるものですね)「メンバーの体調に以前よりさらに敏感になった(スタッフTさん)」というように、健康に対する意識もそれぞれ変化したのではないのでしょうか。以前から、インフルエンザの時期など体調が悪くなったら情報共有のメールを出すゆるいルールがありましたが、新型コロナの流行にともない、改めてそのルールを確認しあいました。

以前のような関わり方や集まり方はいまだに難しいですが、廊下で偶然会ってあいさつをするような、何気ない関わりが日常にあることが、一人暮らしの自分にとっては(きっと他の居住者にとっても)心強いことだなと実感した一年でした。こんな状況だからこそそのつながりの持ち方もあるように、今は思います。引き続き工夫をしながら、コレクティブの暮らしを作っていきたいですね。(居住者N&T)

※みなとや:コレクティブハウス大泉学園内にあるグループホームの名称、現在4名のメンバーが居住中。コモンスペースの他に集まれる交流室があり、食事の準備をしたりテレビを見ながら雑談などもできる。毎日通うスタッフ(社会福祉法人つくりっこ家の職員)も組合員としてミールや定例会等居住者の一員として参加。

CHCの活動 (2020年12月～2021年2月)

- <12月>
 - ・愛知県M市よりzoomにて事業相談
 - ・第3回 まち“だ”づくりカレッジ参加
 - ・コレクティブハウス本町田「good room」「ひつじ不動産」で居住者募集開始
- <1月>
 - ・トークイベント開催: with/afterコロナ2020年代の「まちだ」的子育て&暮らし方
 - ・〈協働〉らぶふあみ事務局、町田市地域活動サポートオフィス
 - ・(一社)全国居住支援法人協議会の居住支援法人研修会に参加
 - ・これこれ新聞編集部に新たなメンバー加わる!
 - ・第4回 まち“だ”づくりカレッジ参加
- <2月>
 - ・勉強会開催:暮らしに活かせるグリーンエネルギーのこと
 - ・〈講師〉まちだ自然エネルギー協議会 入澤滋さん
 - ・まち“だ”づくりカレッジ卒業発表会 @まちのもり本町田